

「農業の未来をのぞいてみよう」報道関係者と現地調査

報道関係者との良好な関係の維持と、群馬県農業の現状や課題、政策等に係る理解増進を目的に、報道関係者との現地調査を開催

○ 施策分類

広報

○ きっかけ・背景

平成16年度からの関東農政局の取組「各都県における報道関係者とのコミュニケーションの促進」を端緒に、毎年継続した現地調査を実施（今回で20回目の開催）。

○ 取組の内容

「食料・農業・農村基本法」改正に係る検証部会の中間取りまとめにあげられる、課題解決の施策のうち県内で既に事業者が取組を行っている「付加価値の向上」と「先端技術の活用」の2点に着目。将来の農業のために必要な「イノベーション」の現状と課題を把握するため、実践的な事業者等を訪問し事業説明を受け意見交換を行う現地調査を実施。

○ 効果・成果、今後の方向性

調査後、新聞報道2件、ネット記事8件の掲載を確認。県内の先進的な取組を生の現場で見ることができ貴重な機会との評価を得ており、今後も現地調査を通じて、報道関係者の農業への理解、関心を深めていただくとともに、当拠点との関係強化、情報発信の場に繋げていきたいと考えている。



前橋産バナナ園調査



バイオ炭ネギ圃場調査



農学部教授との意見交換



HACCP対応動画放映

取組概要

- 調査先1：「道の駅まえばし赤城」では、道の駅における地産地消や6次産業化など、生産者と消費者をつなぐ取組ほか先端的な栽培管理技術等を取り入れた前橋産バナナ栽培を調査。
- 調査先2：「彩園なかや」では、事業内容及びバイオ炭実用試験圃場を調査。
- 調査先3：「高崎健康福祉大学農学部」では、農業における先端技術活用の現場と将来の展望及び将来の農業の担い手たちの先進技術活用による農業の改革を調査。
- 調査先4：「群馬ミート株式会社」では、移動車内において、HACCP対応で複雑化した品質管理をカミナシで効率化し、75%の作業時間削減を実現した動画を放映。

体制図

参加

報道関係
政策金融公庫
ジェトロ群馬
群馬県
関東農政局
19名

調査

農業に必要な
イノベーション
の現状と課題を
把握
上記調査先

効果

報道関係者等
による

